



対談

さいたま市長 清水勇人氏 × 市P協会長 磯田和男

「子育てするならさいたま市」というフレーズがあるように、さいたま市では未来を担う子どもたちの健全育成のために様々な施策を行っている。今回、市立小学校でPTA会長の経験もある清水勇人市長と、市P協 磯田和男会長との対談が実現し、子どもたちへの熱い思いが語られた。



会長 市長は子どもたちのために、**学校訪問**を大事にしていますね。

市長 学校近くでは早朝からPTAや地域の皆さんが子どもたちを見守っています。これがさいたま市の教育力の原点だと思います。また、学校訪問では学校や子どもたちの様子も分かり元気がますね。朝の挨拶運動や朝礼でお話などをしていますが、子どもたち、特に多感な中学生には夢を持って欲しい事、もしはじめがあれば私たちは全力で戦っていく事を伝えています。

会長 **いじめ**は行政だけでなく、家庭や学校・地域が協力して解決していかなければならないと思います。

市長 いじめに対してはプロジェクトチームで対応しています。でも様々な社会環境が子どもたちに影響を及ぼす中、残念ですがいじめ自体は起こると思っています。それを早く見つけて、いじめた側・いじめられた側の両方をフォローしていく事が必要です。そのためにさわやか相談員やスクールカウンセラーの配置、「未来くる先生」、子どもたちへの「希望をはぐくむメッセージ 大切なあなたたちへ」の発信等に取り組んでいます。また私も「子どもたちに未来を信じ命を大切にしたい」と伝えています。

会長 さわやか相談員やスクールカウンセラーの存在は知られていると思いますが、どんなことをしているかなども広く伝えて、ひとりでも多くの子どもたちの力になることを期待しています。また、「**夢工房 未来くる先生**」は、他市では無いような試みだと思います。

市長 プロスポーツ選手やアーティスト等、夢を実現した方々が子どもたちに夢を伝える授業を全校で実施しています。人から得る情報や刺激はすごく大きいと思います。スポーツや楽器の楽しさ等、世界で活躍する方のお話は子どもたちの人生に大きな影響を与え、そして子どもたちが夢を持ち、その夢を叶えられる教育をしていきたい。同時に命の大切さ、いじめによる傷の深さを子どもたちに伝え、一方で早く発見し対応する、この繰り返ししかないと思っています。子どもが自ら命を絶つことが決してないように、しっかりと取り組んでまいります。

会長 子どもたちを見守る取り組みとしては、**土曜・放課後チャレンジスクール**もありますね。今後、どのように進めていきたいとお考えですか？

市長 土曜チャレンジスクールは基礎学力の向上等、放課後はスポーツや昔遊びなど体験型活動を提供しています。PTAや保護者、地域にご協力いただき地域力を高めていきたいとの思いで取り組んでいます。今年度、学校と地域を結び付ける学校地域連携コーディネーターを全校に配置し着実に進んでいると思っています。チャレンジスクールでは子どもたちもいきいきとして学校では見せない輝きを放ち、ご協力いただいている特に高齢者の方がハツラツしていると聞きます。一つひとつ課題を乗り越え、子どもを核に地域の絆を深くし、学校や地域の特色ある形へと定着していく事を願っています。

会長 学校は、子どもたちの通う場所というだけでなく、地域力というコミュニケーションを深める場になることが期待されますね。また、地域の中で学校の存在は、震災後は特に避難所という意識も強くなっていると感じています。そんな中、**学校の耐震工事**も進んでいますね。

市長 子どもたちの学校は地震などの際にも安全な場所ではなくてはなりません。学校の耐震工事は計画を前倒しして、平成24年度に完了予定

です。東日本大震災もあり子どもたちの安全のため、いざという時の避難場所でもある学校の耐震化に最優先で取り組んできました。

会長 震災後の関心といえば、**放射能の問題**もありますが、さいたま市はいち早く学校や給食の放射線量を測定し公開するなど、多くの保護者からありがたいとの声を伺っています。

市長 校庭の空間放射線量は全校で測定し、今も継続して何地点か定点観測を公開しています。また給食の材料を購入している市場でサンプリングし、事前測定する取り組みを政令市の中でも比較的早く行ってきました。とにかく皆さんの安心が第一と思っています。

会長 学校の耐震工事などが進む一方、今年度は緑区に**美園小学校**と**さくら草特別支援学校**が開校しましたね。

市長 今後美園小学校の地域は、開発が進み人口の増加が予想されています。特別支援学校は県の仕事ですが、市内から遠い県立の特別支援学校に通う方も多くいます。こうした点から、さくら草特別支援学校を創立しました。特別支援学級も各学校への設置を進め、将来的には身近な学校に子どもたちが通える環境を整えていきたいと考えています。

会長 特別支援学校に対する市長の強い思いを感じますね。さて、そろそろ対談も終わりに近づいてきましたが、市長もPTAのOBということで、**PTA会員にメッセージ**をお願いします。

市長 私もPTAの会長でしたが、PTA活動を通じて親も子どもたちと一緒に成長できる面があります。以前、お婆ちゃんやお母さんと暮らしているおとなしい子がいて、お母さんは授業参観やPTA活動に余り参加できないようでしたが、ある時の側溝掃除に参加してくれました。そうしたら、その子が積極的に友だちや周りの人に話しかけ、嬉しさを全身で表現していました。お母さんも真っ黒になって掃除をして…思い出すと感動しちゃうんですね。あの子は、お母さんが大変だと分かっているんですね。その中で自分だけでなく学校や友だちのために一生懸命な母親の姿が、子どもにとっても良い影響を与えたと思います。私はこの方からPTAの意義、重要性を学びました。忙しい中、活動に出るのは大変ですが、年に一回でも参加することが子どもへの教育力、影響力につながると思います。

会長 市長の言う「**子どもが輝くまち・子育てしやすいまち**」、我々保護者もそうあってほしいと思います。

市長 今、子どもたちは様々な家庭環境にありますが、さいたま市の小中学校に通った子どもたちが自ら夢を見つけ、その夢を実現できる環境作りが私たちの仕事です。ただし、それは行政だけではできません。PTAや学校、地域の皆さんと一緒に環境作りをすることが大切です。以前、子どもたちから「**さいたま市を家族のように温かい**

まちにして欲しい」と言われました。この夢の実現に向けて皆さんと手を携えて、取り組んでまいります。

会長 子どもたちのため、これからもご協力をお願いします。



埼玉県は、自転車の個人所有率全国1位、自転車事故発生率は全国ワースト3位です。(平成24年12月31日現在)
子どもたち、家族、私たち…思わぬところで、被害者になることはもちろん、加害者になることはもっと悲しいことです。
そこでみなさん！一緒に、自転車安全について考えてみませんか？

平成25年度より市立全小学校103校にて 自転車運転免許制度実施

氏名	〇〇〇〇	交通安全
学校名	さいたま市〇〇〇小学校	自転車運転免許証
交付	平成24年12月01日	
さいたま市〇〇区		
さいたま市教育委員会・〇〇警察署		

指定場所一時不停止
無灯火運転
並進
傘さし運転
携帯電話等の使用
自転車横断帯を通行しない
(警察官の指示に従わなかった者)

二人乗り
信号無視
車道の右側通行
歩行者妨害
ブレーキ整備不良
イヤホン等の使用
反射器材等の装備義務

小学生でも違反だよ！
罰則：5万円以下の罰金

自転車に乗る前に確認してね！

ブレーキはきちんと効きますか？
タイヤの空気圧は適切ですか？
ベルはしっかり鳴りますか？
サドルの高さは体に合っていますか？
ハンドルはガタつきませんか？
反射材は破損していませんか？
ライトはつきますか？



さいたま市交通安全課
<スグ>

しっかりと確認をしましょう！

毎月10日は
自転車安全利用の日

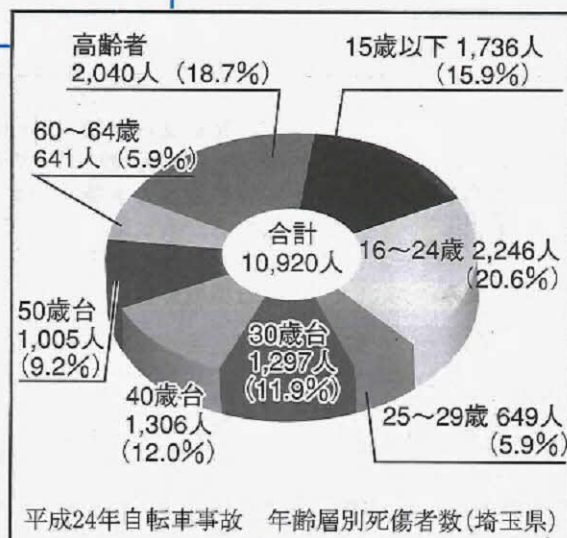
自転車事故の発生状況

主な原因は安全不確認、一時不停止、信号無視。

平成24年、自転車乗用中事故について、気になるデータは以下である。

- 全国 人身事故件数
…13万2048件
- 埼玉県内 年齢層別死傷者数
…15歳以下 1,736人
(15.9%)

昨年に比べ、279人減。関係各署の努力が功を奏しているといえる。



自転車事故の約8割は、車両(自動車・原付・自転車)相互の事故。「出会い頭事故」が多い…

重大事故となる要因について、以下があげられる。

- 自転車乗用中の死傷者 1万920人
- 出会い頭衝突…6,047人(55.4%)
 - 右左折時衝突…2,711人(24.8%)
 - 正面衝突…186人
 - 追突…155人

とくに自動車との事故は、大けがや死亡など重大事故につながる危険が大である。
また、自転車事故は、自宅から1km以内で、約6割が発生している。

自転車を取り巻く事故のリスク

自転車での事故は、被害者となる場合だけでなく、加害者となり責任を問われる場合も少なくない。自転車に乗っている子どもはとっさに自転車から飛び降りるなどして軽傷でも、相手(特に高齢者)が重傷という傾向がある。衝突相手が歩行者の場合は更に深刻になりやすく、中学生が歩行中の高齢者を死亡させた事故もある。

子どもによくある自転車事故事例

- 見通しの悪い交差点で、2台の自転車が減速しないまま進み、出会い頭に衝突して負傷。
- 右カーブしている市道を「逆走」(右側通行)し、対向車と接触して負傷。
- 並進(2列に並んで走る)で会話中、前方不注意で建造物に衝突して負傷。

一般市道の交差点での衝突事故が圧倒的に多い。交差点は、信号・「止まれ」標識・一時停止の白い線のあるなしに関わらず、必ず安全確認することが大切だ。

～もしもの備えに！～

お子さんが自転車運転中、事故に遭った！突然起きてしまうのが事故です。小学生になると、子ども一人で自転車を運転する機会が増えます。県下、自転車事故状況をみると、15時～18時が最も多くなっています。お子さんや家族の思いがけない事故に備えて、自転車の保険加入を推奨します。

市P協には「児童・生徒ワイド補償制度(任意加入)」があります。保険料は大口割引導入により、個人加入よりはるかにお得になっています。

自転車での加害者事故事例

夜間、無灯火のまま、徐行せずに歩道通行中、前方の交差点の信号に気をとられ、前にいた歩行者に気付くのが遅れて衝突し、死亡させた。

◆損害賠償 約4,000万円

二人乗りで信号がない交差点を大回りで左折し交差道路の右側に進入、対向の自転車と正面衝突、重傷・後遺障害を負わせ、1年4ヵ月後に死亡。

◆損害賠償 約3,500万円

目指せHAPPY自転車ライフ

～みんなで学ぼう自転車安全利用～

市内小中学校の 自転車安全運転への取り組み

さいたま市内小学校での取り組み

- 自転車安全講習
- 学科試験
- 実技試験
- 免許証交付

【目的】

自転車を利用する小学生に対し、早い時期から自転車の安全な乗り方を指導することにより、体系的な交通安全教育の機会を提供し、自主的に基本的な交通ルールを体得させて、交通安全に対する意識を高め、児童の将来にわたる長期的な交通事故防止に資することを目的とする。

問題用紙	
小学校 年 組	
名前	
[問] たがしいものに○、たがしくないものに×を□の中に入れてください。(各10点)	
1	横断歩道をわたる時は、歩行者の歩くじやまになる場合、自転車から降りて押して渡る。
2	「止まれ」の標識がある交差点でも、安全を確認すればとまらなくてよい。
3	散歩のためであれば、犬などの動物をひきながら自転車にのつてもよい。
4	「内輪差」とは、自転車がかぶるとき、前輪と後輪では後輪のほうが内側を通ることという。
5	「自転車歩道通行可」の標識がある歩道では自転車が優先なので、ベルを鳴らして歩行者によけてもらって進む。
6	「自転車横断帯」がある場合は、自転車に乗ったまま通ることができる。
7	夜間、自転車に乗るときは、反射材のついた明るい目立つ色の服を着るとよい。
8	スリッパやハイヒールをはいて自転車に乗ることは、危険なので控えるようにする。
9	横の信号が赤になったら、前方の信号が青になるので、戻り始める。
10	ほかの自転車とならんで走ったり、ジグザグ運転はしない。
点数 / 100	

自転車マナーアップ推進校指定校 常盤中の取り組み

- 全校生徒対象の交通安全教室 実施
スタントマンによる仮想事故の見学
代表生徒による傘さし運転・危険運転体験、制動距離実験の様子を見学
- 自転車通学許可証 発行
保険加入・自転車点検の合格・ヘルメット着用で発行
*違反4回で許可取り消し
- PTA・教職員による、通学路での登校指導・下校指導
- 安全委員会の生徒による、通学路での注意喚起など



【課題】

ヘルメットの着用の徹底。生徒自身が、自分で自分の身を守るという意識がまだまだ低い。被害者になることも悲劇だが、加害者になることはもっと悲劇。今後、ますます努力していきたい。



芝原小 自転車安全教室



木崎小 自転車運転実技試験



柏崎小 自転車安全教室

交通安全は家庭から

～交通安全保護者の会（母の会）にPTAが参加～

子どもたちを交通事故から守る。交通安全は家庭からはじめましょう。子どもに対して具体的な場面で繰り返し交通ルールを教えるとともに、お手本となる行動をとることが大切です。

さいたま市交通安全保護者の会（母の会）は、家庭での交通安全の担い手になるとともに、子どもから高齢者までの交通安全に対する意識を高める活動を行っています。

交通安全保護者の会（母の会）の活動には、PTAからも多くの皆さんが参加をしています。各地区の警察署や交通安全協会などの関係団体と連携して、交通事故をなくし、明るい平和な街づくりを目指しています。

児童生徒が危険と感じた場所（ヒヤリとした場所、ハットした場所）を地図にしたヒヤリハットマップを作成したり、交通安全のポスターや標語の募集・表彰に参加したりしています。

「もしかして・とまる・みる・まつ・たしかめる」を合言葉に、子どもに交通ルールやマナーを守る態度を身につけさせましょう。



交通安全パレード

交通安全運動の啓発活動である交通安全パレードに、多くのPTAの皆さんが参加をしています。
(平成24年9月16日、与野本町小にて)

交通安全教室

スタントマンが交通事故を演技で再現。事故の怖さが伝わりました。



交通安全保護者の会（母の会）の主な活動

- 交通安全運動、交通安全教室への参加
- 交通安全ポスター、交通安全標語の募集・表彰
- ヒヤリハットマップ作成

市P協 事業報告

役員セミナー

7月5日(木)浦和コミュニティセンター
さいたま市内小学校・中学校・高等学校・特別支援学校全170校の、各校PTA役員を対象にセミナーを開催。桐淵博教育長の「日本一の教育都市を目指して」を題目とした講話や「土チャレ」の事例発表などが行われた。



館岩少年自然の家視察研修

8月18日(土)19日(日)
各区PTA代表約40名が参加。初日は、やま道の「木段作り」「側溝の清掃」「除草作業」など環境整備を行い、二日目は「イワナつかみ」「源流探検」「そば打ち体験」など児童生徒と同様の自然体験活動を行った。



日本PTA全国研究大会 京都大会

8月24日(金)25日(土)
『いのち ところ ゆめ～伝えよう つなげよう 育もう～』をスローガンに、京都で開催。子どもたちが健やかに育つ環境づくりと、子どもたちが「夢と希望」を抱いて生きる、かけがえのない「命」が輝く社会の実現を目指して意見が交わされた。



指定都市PTA情報交換会 名古屋大会

9月13日(木)14日(金)
『日本のど真ん中でPTAの環をひろげよう!～「家庭でしつけ、学校で学び、地域で育てる」環の確立のために～』をスローガンに、13指定都市PTA協議会の役員・関係者が一堂に会し、連携協力と情報交換が行われた。



教育委員会との交流会

10月5日(金)浦和ワシントンホテル
市P協と市立高校PTA代表、教育委員会各部との交流会を開催。桐淵博教育長よりいじめの問題、命の大切さをどう伝えるかについてお話があり、約150名の参加者は交流を深める中、熱心に意見交換を行った。



関東ブロックPTA研究大会 静岡大会

10月19日(金)20日(土)
『「集い学び ところつなごう ふじのくに」～子どもたちの未来のために～』をスローガンに、静岡で開催。市P協も、子どもたちを守り育てるための「学校・家庭・地域の連携について」という課題で事例発表を行った。



役員研修会・人権啓発講演会

11月16日(金)市民会館おおみや
第一部では人権標語・人権作文の表彰式を、第二部ではエッセイストの宮本延春氏による「オール1の落ちこぼれ、教師になる～いじめ、引きこもり、天涯孤独の絶望を乗り越えて～」という演題で講演会を開催した。



教育委員会との懇話会

1月25日(金)
桐淵博教育長の「希望をはぐくむ教育の推進」という題目での講演や、小林俊雄学校教育部長の講話が行われた。いじめや不登校、小中一貫教育など様々な話題が提供され、懇話会では幅広く意見交換が行われた。



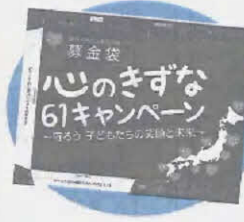
東日本大震災 復興支援活動

とどけよう!
被災地の子どもたちへ...

今年度、市P協の活動目標に新たに取り入れた「東日本大震災で被災した子どもたちへの支援に努める」活動の一環として、10月27日(土)「大宮区ふれあいフェア」と、11月3日(土)「南区ふるさとふれあいフェア」でブースを出店した。大宮区連合会・南区連合会協力のもと、来場者に被災地の子どもたちへの支援を呼びかけながら募金活動や物販をした。



日本PTA全国協議会では、「心のきずな61キャンペーン」として、全国に61あるPTA協議会の心をひとつにして、東日本大震災により孤児・遺児となった子どもたちのために、公益信託を設立し月額1万円の就学支援をするための募金活動を展開している。今回集まった185,699円は、このキャンペーンに募金した。



活躍中
です!



磯田和男会長は、今年度 日本PTA全国協議会の副会長としても活躍しています!

募集
自慢の広報紙を
コンクールへ

PTA広報紙コンクールを開催します。
3月26日(火)までに、24年度の広報紙を市P協へ送ってください。
詳しくは、すでに送付されています「開催要項」をご覧ください。

詳しくはホームページ [さいたま市PTA](#)

CLICK

団体割引等適用により
保険料が割安!

さいたま市PTA協議会
「児童・生徒ワイド補償制度(こども総合保険)」加入受付中!

現在ご加入者数は
約13,000名!

本広告は制度の概要のみを記載したものです。ご加入に際しては重要事項説明書をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には代理店までお問い合わせください。

賠償責任 高額な賠償にも備えを!

◆昨今の自転車事故増加による高額な賠償責任にも備える為に平成25年度からの新プランは全て支払限度額1億円!
中学生の自転車事故による死傷者数で埼玉県は全国ワースト1位



けがの補償 24時間補償で安心!

◆学校内でのけがはもちろん、休日も含め24時間けがを補償!
◆地震等、天災によるけがも補償!
◆細菌性食中毒(ノロウイルス)や熱中症による死亡・後遺障害・入院・手術・通院も補償!

育英費用補償「扶養者」の万が一にも!

◆保護者(扶養者)の方が「急激かつ偶然な外来の事故」によってお子様を残して突然命を落とされたり、重度の後遺障害を被ってしまった場合には「育英費用補償」でサポート!

当制度の
お問い合わせ先
パンフレットの
ご請求先

さいたま市PTA協議会「児童・生徒ワイド補償制度」係
(事務局)さいたま市大宮区大門町3-1 大宮区役所東館1F
取扱代理店: 東海日動パートナーズ埼玉
〒336-0021 さいたま市南区別所3-14-7
(お問い合わせ先) TEL: 0120-634-854



引受保険会社: 東京海上日動火災保険株式会社(幹事会社)
担当支社: 埼玉中央支店新都心支社
さいたま市大宮区桜木町1-10-7 TEL 048-650-8378
非幹事保険会社: AIU保険会社・株式会社損害保険ジャパン